

安曇野市制施行15周年記念

令和2年度秋季企画展

満願寺展 I

描かれた満願寺とその自然
―「死出ノ山」とは何か―

令和2年 9月5日 日 ~ 11月8日 日

AZUMINO CITY TOYOSHINA LOCAL MUSEUM
安曇野市豊科郷土博物館

<http://azuminohaku.jp/>

開館時間／午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

入館料／高校生以上100円（20名以上の団体は1名につき80円）※中学生以下、安曇野市内在住の70歳以上の方は無料

休館日／月曜日（祝日の場合は開館）・祝日の翌日

描かれた満願寺とその自然

—「死出ノ山」とは何か—

満願寺は、江戸時代の国絵図や藩領図に大きく描かれ、安曇地方唯一の信濃三十三番札所として多くの参拝者で賑わった、安曇野を代表する寺院であった。その歴史は、少なくとも中世にさかのぼることができる。また、昭和20年代まで、安曇野地方の新霊が集まる寺とされ、8月9日のホトケムカエには安曇野全域から参拝者を集めていた。さらに満願寺は、信仰によって守られてきた自然も存在する。

安曇野市が策定した新市立博物館構想は、「自然と人々の営みが生み出した安曇野の文化を市民とともに「守り」「育て」「創る」を基本理念としている。その理念を実現する題材として満願寺がふさわしいとさまざまな分野からアプローチをしてきた。

今回は、絵地図に描かれた満願寺とそこに登場する「死出ノ山」の関係と、守られてきた植生の不思議について迫る。

講座

9月6日 日 AM10:30~12:00 PM1:30~3:00

「描かれた満願寺からみえるもの」

9月19日 土 AM10:30~12:00 PM1:30~3:00

「満願寺が創建された時代の安曇野」

講師 原明芳 (館長)

[会場] 博物館学習室

※AM・PMとも同じ内容の予定です。

現地見学会

9月27日 日 9:00~12:00

満願寺の自然 講師 松田貴子 (学芸員)

10月17日 土 9:00~12:00

栗尾道から死出ノ山、そして満願寺

講師 原明芳 (館長)

[会場] 満願寺駐車場 集合

※どちらかのみにご参加いただけます。

講座・見学会共通

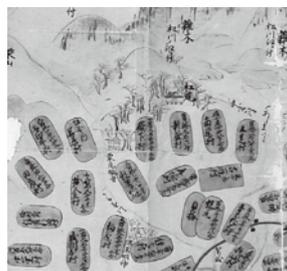
[定員] 各回20名 (先着順)

[参加費] 100円 (資料代・保険代等)

[申込] 8月18日 (火)~前日までに博物館へお電話で申込み



信濃国栗尾山図 刷物
(満願寺蔵 明治25年)



信州筑摩郡・安曇郡書画 部分
(松本市立博物館蔵 江戸時代前半)



観音堂 絵葉書『栗尾山満願寺』
(本館蔵 昭和20年以前)



現在の死出ノ山周辺の山頂のようす



安曇野市豊科郷土博物館

〒399-8205 長野県安曇野市豊科4289番地8

TEL 0263-72-5672 FAX 0263-72-7772

アクセス/JR大糸線豊科駅より徒歩15分

JR篠ノ井線田沢駅より車で10分

長野自動車道安曇野I.Cより車で5分

<http://azuminohaku.jp/>

